

ルワンダの悲劇から学んだ 教育の大切さ

カンベンガ マリールイズ

私はルワンダの内戦という辛く悲しい体験の中から命の尊さ、平和の大切さを身をもって学びました。

ウムチヨムウイーザ学園は、戦争で心身ともに傷ついたルワンダの子ども達に、教室で学びながら、夢を取り戻してほしいという願いのもとに、幼稚園・小学校をルワンダのキガリに建設しました。

現地ルワンダでは、義兄チャールズが中心となり「ADESOC」というNGOを発足させ、当学園の建設と運営を担当しております。

本会は「ADESOC」の趣旨実現のために、さまざまな教育支援活動をしております。

本会の応援をしていただきながら、平和な日本にいる皆さんが出来る社会貢献とは何かを考えるきっかけにさせていただければありがたいです。

貧しい子ども達の夢の実現までには、継続した支援が必要です。子ども達の成長を見守ってください。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

本会の目的

この法人は、戦争で心身ともに傷ついたルワンダの子ども達に対して、教育の機会を与え、民族や宗教・政治思想にとらわれることなく、その人らしく生きていくための、様々な教育支援事業を行い、ルワンダの平和に寄与することを目的とする。

おもな活動

ルワンダを理解していただくための

講演活動

ルイズが自分の体験を通して①命の尊さ②教育の尊さを語りかけます。あたりまえと思っていた日本の平和がどれほどありがたいものか、一緒に考えてみませんか。



講演中のルイズ

異文化理解のためのイベント開催

明るくバイタリティーにとんだアフリカを理解していただくために様々なイベントに参加したり、コンサート等を開催しています。



地球市民フェスティバルに出展した
ルワンダ料理と手作りクッキー等

民芸品の販売

このカードは、ルワンダのストリートチルドレンが、パナナの木の皮を使って1枚ずつ、手作りのものです。これ以外にルワンダのコーヒー、紅茶等も販売しています。現地の人々の自立支援、学校運営資金の創出になります。

